

TOTO

電温用湯水混合水栓

TL326E型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意




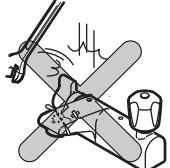
(安全のために必ずお守りください。)






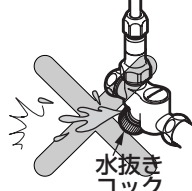
取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
 禁止	吐水口にホースなど抵抗となるものを接続しないでください。 電気温水器のタンク内圧が上がり、破損して水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。 

注意	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。 
 必ず実行	凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部に保温材を巻いてください。また、寒冷地用の場合は、「7 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に行ってください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 
 禁止	寒冷地用 水抜きコックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜きコックをいきなり開けると水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

3

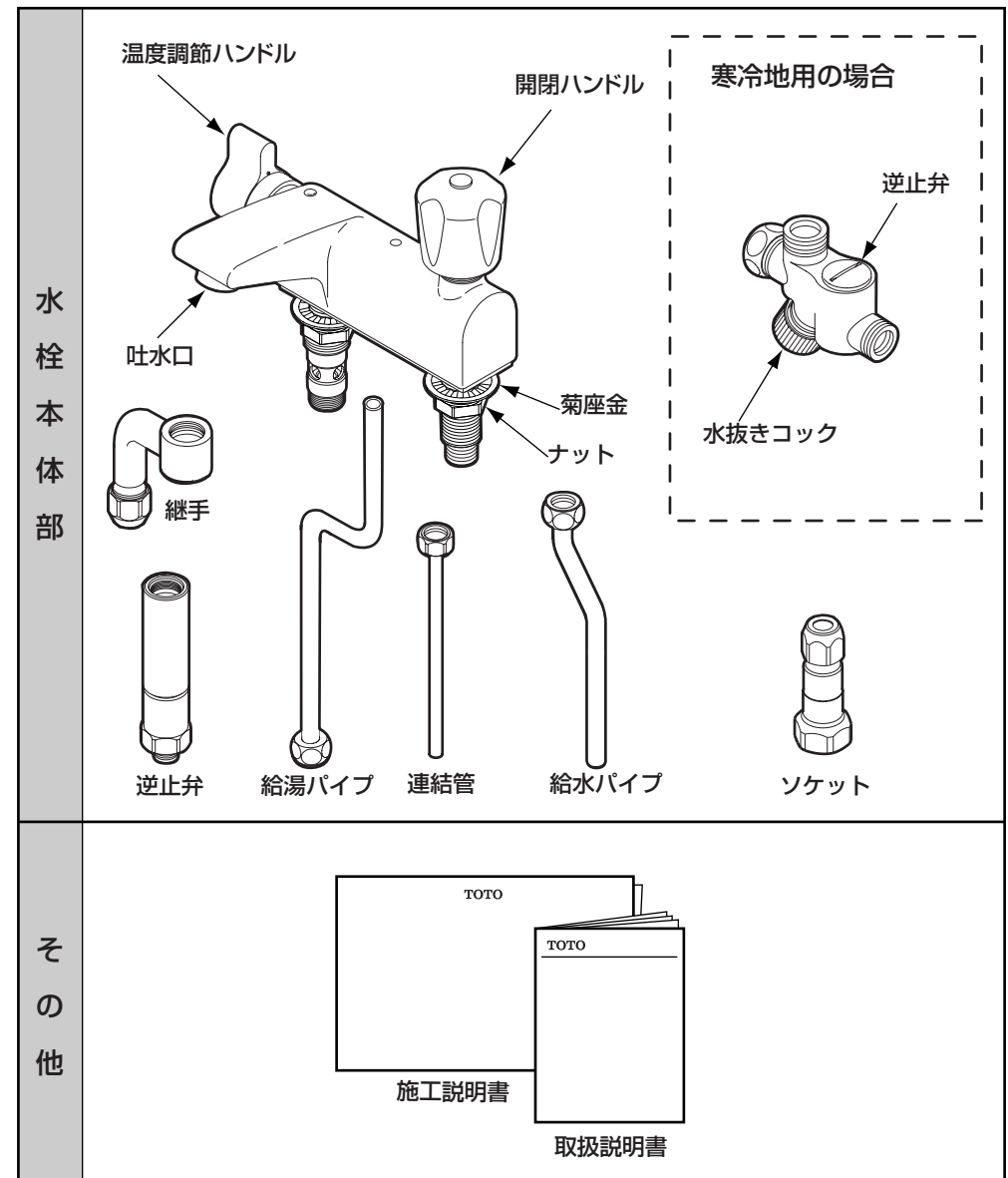
取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

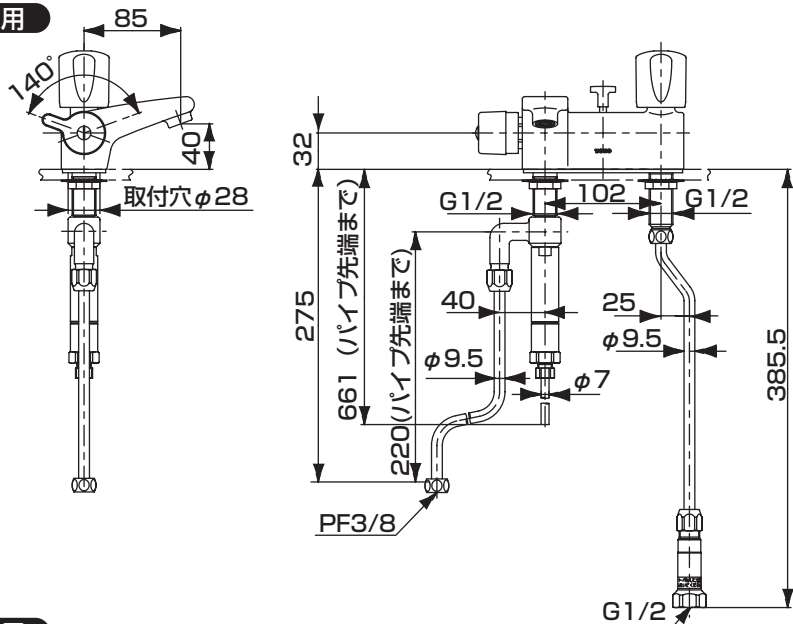


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

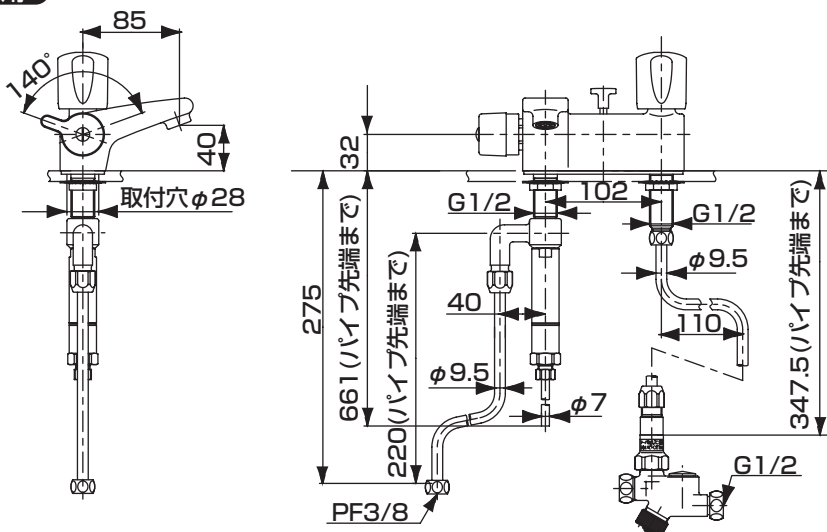
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

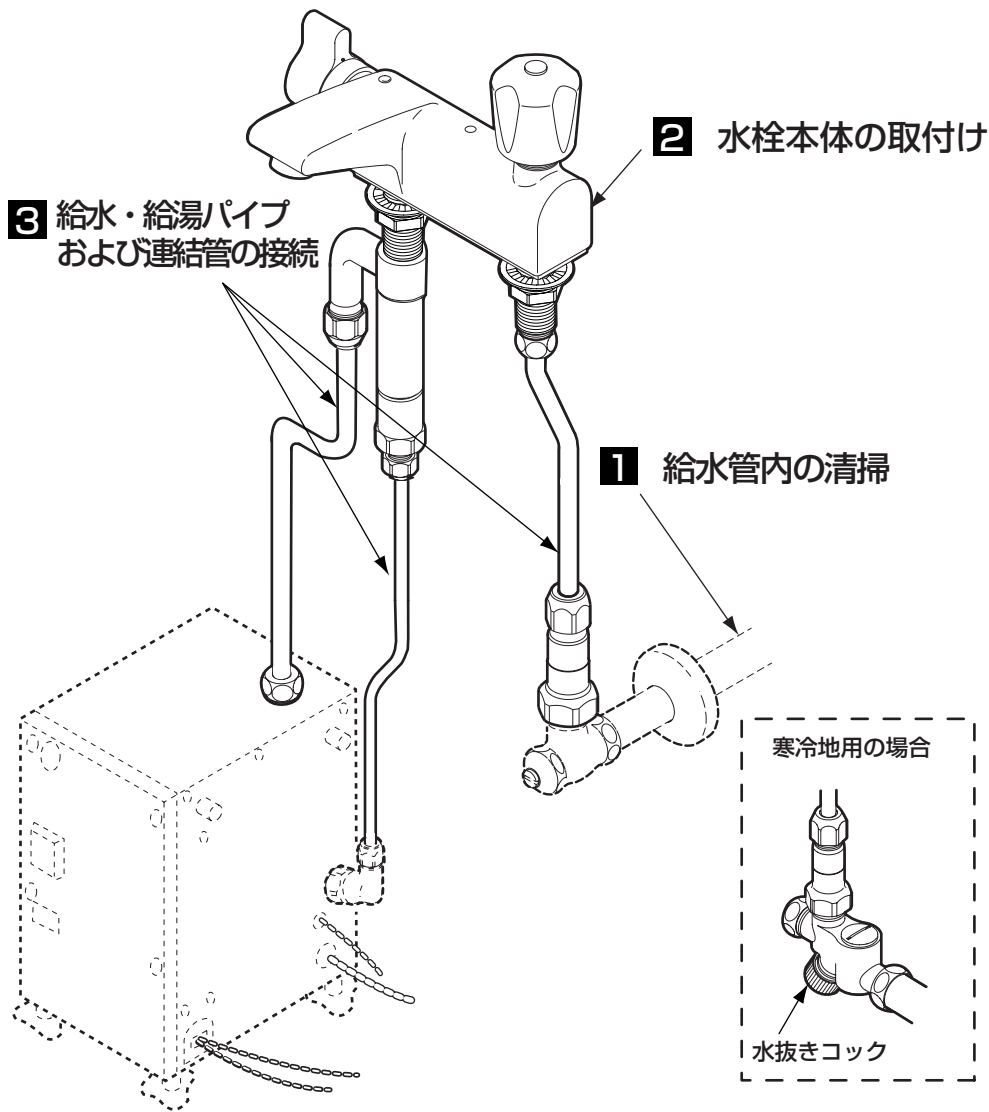
一般地用



寒冷地用



6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

6-2 施工手順

2 水栓本体の取付け

①取付穴周囲の汚れを取り、本体が正面を向くように本体脚部を取付穴に差し込む。

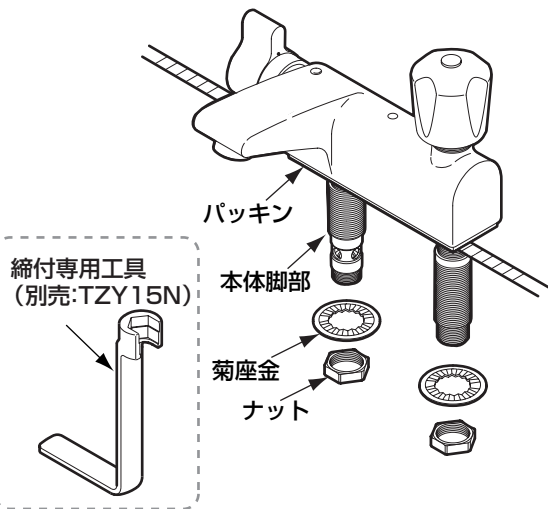
注意

パッキンを必ず取り付けてください。

②菊座金・ナットで固定する。

注意

固定には別売の締付専用工具 (TZY15N) を利用して確実に締め付けてください。



③湯側の本体脚部に継手・逆止弁本体を締め付ける。

④電気温水器の給湯口に給湯パイプを接続する。

⑤逆止弁本体に連結管を接続し、給水口に接続する。

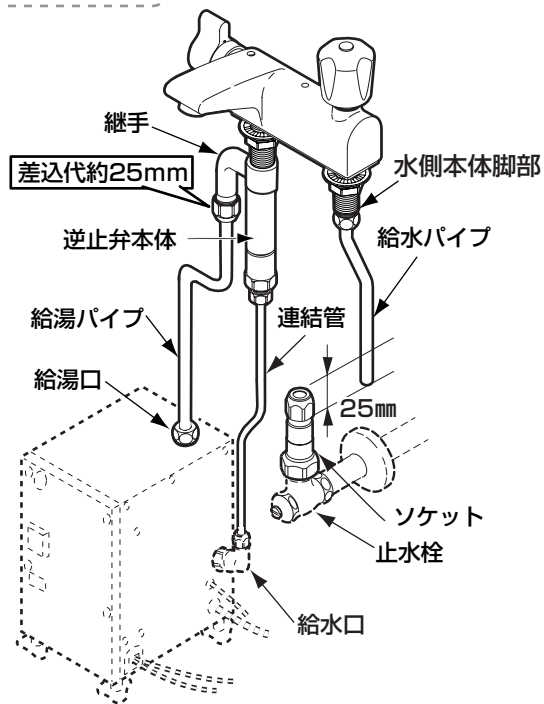
⑥水側本体脚部に給水パイプを接続する。

⑦ソケットを止水栓に固定する。

⑧給水・給湯パイプ・連結管の必要長さを確認し、切断する。

注意

●給水・給湯パイプの差込代は約25mm確保してください。

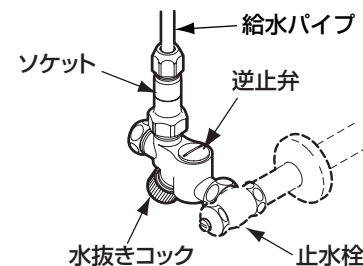


寒冷地用の場合

逆止弁部を右図のように接続する。

注意

水抜きコックが必ず下になるように取り付けてください。



3 給水・給湯パイプおよび連結管の接続(テーパリング接続の場合)

①給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、ソケットに差し込む。

②ソケットを止水栓にねじ込む。

③パッキンをパッキンガイドに入れ、ソケットに押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。

④更に工具で1回転以上締め付ける。

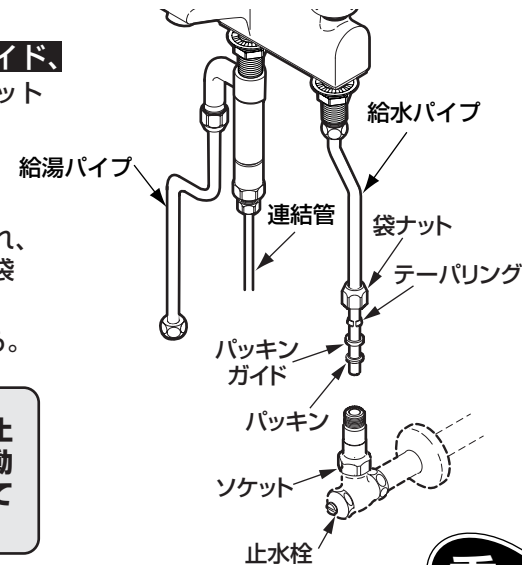
注意

給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

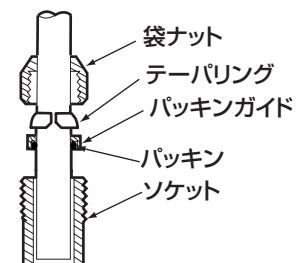
注意

袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。

水漏れのおそれがあります。



重要



裏面へつづく

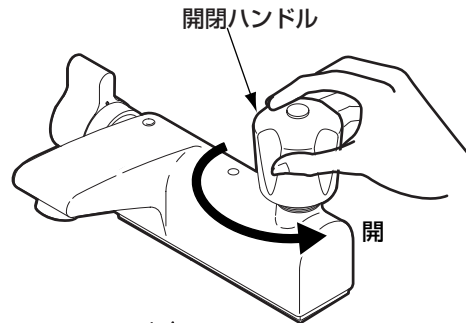
7

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、温水器の操作要領と合わせて水抜きを行って
おいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

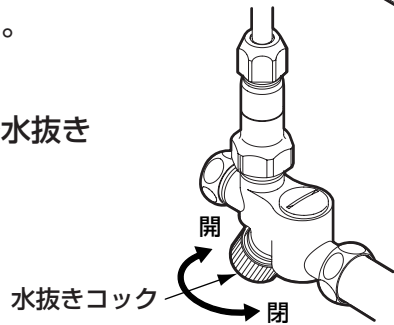
1. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓
(配管部)を開ける。

2. 開閉ハンドルを開く。



3. 水抜きコックを開ける。

4. 水抜き完了後は、必ず水抜き
コックを閉める。



5. 水抜き完了後は、必ず開閉ハン
ドルを閉める。
(水が出ない状態)

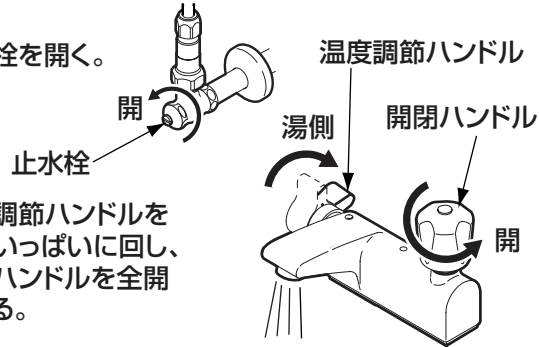


重要

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

電気温水器への通水

① 止水栓を開く。



② 温度調節ハンドルを湯側いっぱいに戻し、開閉ハンドルを全開にする。

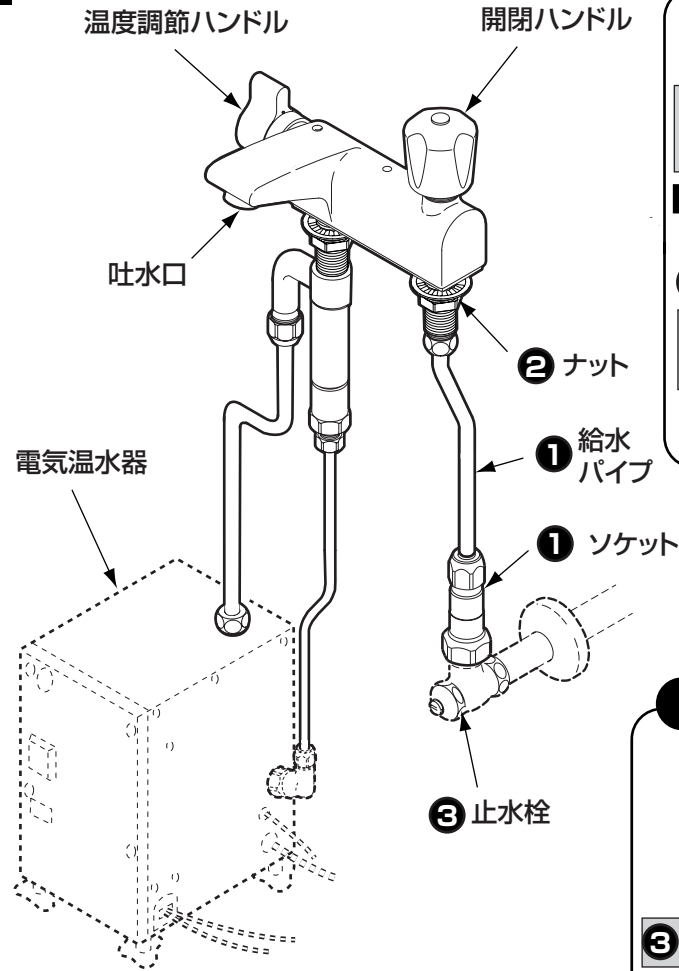
※ハンドルを開いてから約1分で電気温水器のタンクが満水になり、吐水口から水が出始めます。配管やタンク内の汚れを取り除くために、しばらく水を流してから止めてください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② ナットの緩みはないですか？

↳ 6-2 - 2 「水栓本体の取付け」参照



水漏れの確認

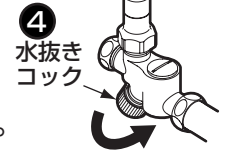
水漏れがないか確認してください。

① 給水パイプはソケットにしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-2 - 3 「給水・給湯パイプおよび連結管の接続」参照

寒冷地用の場合

④ 水抜きコックは、しっかり閉まっていますか？



↳ 水抜きコックを閉める。

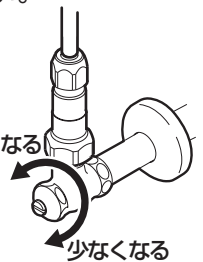
流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ 止水栓は開いていますか？

多くなる

↳ 止水栓で流量を調節する。



少なくなる

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。